

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 理科 1年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：自然の探求「中学理科1」（教育出版） 年間授業時数：105時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 8	1、いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類 2章 植物の体の共通点と相違点 3章 動物の体の共通点と相違点 単元末・読解力問題	27	○いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ○身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだし 表現する。 ○いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。	観察1 校庭周辺の生物の観察 実習1 生物の分類 観察2 花のつくり 観察3 植物の葉や根のつくり 実習2 脊椎動物の分類 観察4 無脊椎動物の観察 上記の観察・実習を行い、レポートを作成する。 生物のつくりから、分類を理解する。 ICTの活用。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだし表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
8 ～ 12	2、身の回りの物質 1章 さまざまな物質と その見分け方 2章 気体の性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の状態変化 単元末・読解力問題	25	○身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ○身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだし表現する。 ○身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。	実験1 白い粉末の区別 実験2 1円硬貨の密度を調べる 実験3 酸素や二酸化炭素の性質 実験4 再結晶 実験5 状態変化 実験6 蒸留 上記の実験を行い、レポートを作成する。 変化の様子をモデルで表す。 ICTの活用。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだし表現している。	身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
4 ～ 12	3、光・音・力 1章 光の性質 2章 音の性質 3章 力のはたらき 単元末・読解力問題	26	○身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ○身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだし表現する。	実験1 光の反射 実験2 光の屈折 実験3 凸レンズによる像 実験4 音の大きさや高さ 実験5 二力のつり合い 実験6 力の大きさとばねの伸び 上記の実験を行い、レポートを作	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだし表現して	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとし

			○身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	成する。 作図を行う。 ICTの活用。	る技能を身に付けている。	いる。	ている。
1 ～ 3	4、大地の成り立ちと変化 1章 地層 2章 火山 3章 地震 4章 大地の躍動と恵み 単元末・読解力問題	2 7	○大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ○大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。 ○大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	観察1 地層や堆積岩の観察 観察2 火山灰の観察 観察3 火成岩の観察 実習1 地震による地面の揺れの伝わり方 上記の観察・実習を行い、レポートを作成する。 柱状図から地層の広がりを考える。 化石を観察し、過去の環境と年代を推定する。 火山や地震の多い場所を調べる。 自然の恵みや災害を調べてみる。 ICTの活用。	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※ 大半の授業で、映像や資料提示のために ICT を活用しています。

2026年度（令和8年度） 町田市立南中学校 理科 2年 年間指導計画及び評価規準

使用教科書：自然の探求 中学理科2 （教育出版） 年間授業時数：140時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 1 0	2年 単元1 化学変化と原子・分子 1章 化学変化と物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と物質の質量 単元末・読解力問題	39	身の周りで日常的に潜んでいるあらゆる化学変化を原子や分子を用いて、物質の成り立ち及び化学変化、化学変化と物質の質量のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を定量的に説明することができる。 化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。	実験1 炭酸水素ナトリウムの熱分解 実験2 電気による水の分解 実験3 鉄と硫黄の混合物の加熱 実験4 金属の燃焼（一部は演示） 実験5 酸化銅の還元 実験6 化学変化の前後の質量（質量保存則） 実験7 熱を発生する化学変化 実験8 熱を吸収する化学変化 1～8の実験を行い、レポートを作成する。 様々な化学変化を化学反応式やモデルで表す。 レポートの作成や板書は手で書いて身につかせ、実験で得られたデータのまとめはICTを利用する。	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1 ～ 3	単元4 電気の世界 1章 電流と電圧 2章 電流と磁界 3章 静電気と電流 単元末・読解力問題	35	日常生活に潜んでいる電磁気に関する現象を用いて、電流と磁界の基本的な諸原理を理解する。また、それらの原理を可視化するべく、実験を行い、仮説と事実を自ら確かめる技能を身に付ける。 電流・磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。 電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。	実験1 豆電球やモーターに流れる電流の大きさ（演示） 実験2 電流・電圧の大きさ 実験3 電流と電圧の関係 実験4 直列・並列の関係 実験5 電力と熱量の関係 実験6 電流がつくる磁界 実験7 電流が磁界から受ける力 実験8 電磁誘導 実験9 電気の力 1～9の実験を行い、レポートを作成する。 レポートの作成や板書は手で書いて身につかせ、実験で得られたデータのまとめはICTを利用する。	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。	電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

4 ～ 1 0	<p>単元3 気象のしくみと天気の変化</p> <p>1章 気象の観測 2章 空気中の水の変化 3章 低気圧と天気の変化 4章 日本の気象</p> <p>単元末・読解力問題</p>	30	<p>身近な気象の観察、実験などを通して、気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。</p>	<p>観測1 気象観測 実習1 天気図を読む 実験1 露点の測定 実験2 雲のでき方</p> <p>観測・実験・実習を行い、レポートを作成する 気象要素のグラフを読みとる。 空気に質量があるか調べる。 高気圧・低気圧付近の天気の特徴を調べる。 高気圧や低気圧の移動について調べる。 各地の気象を比べて日本の天気の特徴を理解する。 気象現象がもたらす恵みと災害を調べてみる。 レポートの作成や板書は手で書いて身につけさせ、実験で得られたデータのまとめは ICT を利用する。</p>	<p>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。</p>	<p>気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
1 ～ 3	<p>単元2 生物の体のつくりとはたらき</p> <p>1章 生物の細胞と個体 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき</p> <p>単元末・読解力問題</p>	37	<p>生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物や動物の体のつくりと働きのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>身近な生物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を考え観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。</p>	<p>観察1 生物の顕微鏡観察 観察2 単細胞生物と多細胞生物の観察 観察3 光合成が行われる場所 実験1 光合成で使われる物質 実験2 蒸散と吸水の関係 観察4 葉の表皮と断面 実験3 だ液のはたらき 観察5 毛細血管の観察 実験4 刺激と反応</p> <p>上記の実験や観察を行い、レポートを作成する。 生物の体のつくりと働きの映像資料を見せる。 小テストを行い、基本内容を習得する。 レポートの作成や板書は手で書いて身につけさせ、実験で得られたデータのまとめは ICT を利用する。</p>	<p>生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>身近な植物や動物の体のつくりと働きについて問題を見いだし、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。</p>	<p>生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 7	単元1 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 酸・アルカリとイオン 3章 電池とイオン	28	<p>化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン及び化学変化と電池のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。</p> <p>化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな水溶液に電流が流れるかを調べる。 ・塩化銅水溶液に電流が流れているときの変化を調べる。 ・塩酸に電圧を加える。 ・金属の種類によって、イオンへのなりやすさに差があるかを調べる。 ・ダニエル電池では、どのようなしくみで電気エネルギーをとり出せるかを調べる。 ・酸性・中性・アルカリ性の水溶液の性質を調べる。 ・酸性・アルカリ性を示すものの正体を調べる。 ・身のまわりのもののpHを測定する。 ・酸とアルカリの水溶液を混ぜた液の性質を調べる。 ・水溶液に何が溶けているのか確かめる。 	<p>化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p>	<p>化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
4 ～ 10	単元2 1章 生物の成長と殖え方 2章 遺伝の規則性 3章 生物の種類の多様性と進化	23	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。 ・生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞分裂のときに核に起こる変化を観察する。 ・セイロンベンケイを育てて、ふえ方を観察する。 ・植物が受粉した後の花粉の変化を調べる。 ・孫の代への形質の伝わり方を考える。 ・脊椎動物のグループごとの特徴をまとめる。 ・遺伝子に関する研究や研究成果について調べ、遺伝子を扱う技術の利用について多面的に考える。 	<p>生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p>	<p>生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

			きるようになる。				
7 ～ 10	単元3 地球と宇宙 1章 天体の1日の動き 2章 天体の1年の動き 3章 月と惑星の動きと見え方 4章 太陽系と恒星	28	<p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転や太陽系と恒星について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。</p> <p>地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・透明半球に太陽の1日の動きを記録し、特徴を調べる。 ・夜空に見える星の動きを調べる。 ・季節によって見える星座が変化する理由を調べる。 ・太陽光の当たる角度と温度変化のちがいを調べる。 ・日没直後の月の形と位置を観察する。 ・金星の位置と見え方を観察する。 ・太陽の表面にはどのような特徴があるか調べる。 ・太陽からの距離によって、惑星が受けるエネルギーにちがいがあることを確かめる。 ・国や地域による日周運動のちがいを調べる。 	<p>日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、微生物の働きなどを調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解していると同時に、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>身近な自然界のつながりなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて、科学的に考察して判断している。</p> <p>地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p>	<p>自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている</p> <p>地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
10 ～ 1	単元4 運動とエネルギー 1章 力の規則性 2章 力と運動 3章 仕事とエネルギー 4章 エネルギーの移り変わり	33	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、様々なエネルギーとその変換のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・運動とエネルギー、様々なエネルギーとその変換について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。 ・運動とエネルギー、様々なエネルギーとその変換に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・向きがちがう2つの力の合力を調べる。 ・水中の物体に加わる浮力の大きさが何と関係しているか調べる。 ・水中の物体に水圧がどのように加わるか調べる。 ・運動のようすを分類する。 ・記録タイマーで運動を記録して速さを調べる。 ・水平面上を進む台車の運動を調べる。 ・一定の大きさの力を受け続ける台車の運動を調べる。 ・斜面を下る台車の運動を調べる。 ・慣性を実感する。 ・動滑車を使ったときの仕事の大きさを調べる。 ・位置エネルギーの大きさと高さや質量の関係性を調べる。 ・いろいろなエネルギーの移り変わりを調べる。 	<p>物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解していると同時に、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p>	<p>運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。</p>	<p>運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーが全て移り変わるか調べる。 ・エネルギー変換効率を調べる。 			
10 ～ 2	単元5 自然環境や科学技術と 私たちの未来 1章 生物の環境との関わり 2章 自然環境と私たち 3章 自然災害と私たち 4章 エネルギー資源の利用 と私たち 5章 科学技術の発展と私 たち 終末 科学技術の利用と自然 環境の保全	28	身近な自然環境を調べる観察，実験などを 行い，科学的に考察して，自然界のつり合いに ついて理解する。 自然界のつり合いに関する事物・現象に進 んで関わり，科学的に探究しようとする態度 と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する 態度を養うとともに，自然を総合的に見るこ とができる。 日常生活や社会と関連付けながら，エネ ルギーと物質，生物と環境及び自然環境の保全 と科学技術の利用のことを理解するととも に，それらの観察，実験などに関する技能，自 然環境を調べる観察，実験などに関する技能 を身に付ける。 自然と人間に関する事物・現象に進んで関 わり，科学的に探究しようとする態度と，生命 を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を 養うとともに，自然を総合的に見ることで できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・川の水や野鳥について調べる。 ・地域の自然災害を調べる。 ・化石燃料の利用と課題について調べる。 ・プラスチックの性質のちがいを調べる。 ・輸送手段の歴史やしくみを調べる。 ・環境や科学技術について調べ，接続可能 な社会をつくる方法を考える。 ・土の中の小動物を観察する。 ・土の中の微生物が養分に対してどのよ うなはたらきをするか調べる。 ・身のまわりにある生物どうしのつな がりを見つける。 	日常生活や社会と関 連付けながら，生物と 環境，エネルギーと物 質，自然環境の保全と 科学技術の利用を理解 しているとともに，そ れらの観察，実験など に関する技能を身に付 けている。 日常生活や社会と関連 付けながら，自然界の つり合いについて理解 するとともに，微生物 の働きなどを調べる観 察，実験などに関する 技能を身に付けてい る。	身近な自然界のつな がりなどを調べる観 察，実験などを行い，自 然界のつり合いにつ いて，科学的に考察して 判断している。 身近な自然環境や地域 の自然災害などを調べ る観察，実験などを 行い，自然環境の保全 と科学技術の利用の在 り方について，科学的 に考察して判断して いる。 日常生活や社会で使 われているエネルギー や物質について，見通 しをもって観察，実験 などを行い，その結果 を分析して解釈すると ともに，自然環境の保 全と科学技術の利用の 在り方について，科学 的に考察して判断して いる。	自然と人間に関す る事物・現象に進ん で関わり，見通しを もったり振り返っ たりするなど，科学 的に探究しようと している 自然と人間に関す る事物・現象，科学 技術と人間に関す る事物・現象に進ん で関わり，見通しを もったり振り返っ たりするなど，科学 的に探究しようと している。

※ 大半の授業で、映像や資料提示のために ICT を活用しています。